

第5回中国社会福祉研究会

中国における高齢者介護の現 状と課題

—北京市と天津市の事例を通じて—

発表者 毕丽杰
立命館大学大学院 国際関係研究科D2
発表日 2009/5/16

I. 研究背景と問題意識

- 中国：世界一高
齢者大国
- 伝統的な家族扶
養機能の弱体化—
空き巣老人の増加
- 高齢者向けの社
会サービスの遅れ



II. 高齢者福祉事業の展開 (90年代以降)

- 1994年 中国高齢者事業七年発展綱要
- 1996年 中国老人權益保障法
- 2000年 高齢者事業の強化に関する決定
中国第十一次老齡事業發展五カ
年計画綱要
- 2001年 高齢者地域福祉サービス星光計画
- 2006年 在宅サービスの促進に関する意見

高齢者福祉政策：五有原則



- 老有所養
- 老有所医
- 老有所学
- 老有所為
- 老有所樂

Ⅲ. 高齢者介護について

① 高齢者介護の種類

☞ 家族による介護

☞ 養老院等の施設による介護

☞ 社区（コミュニティ）による在宅介護

② 要介護認定基準

級別	要介護認定
1級	日常生活上の基本動作を自分で行うことが可能であり、完全に自立できる状態
2級	日常生活上の基本動作については、ほぼ自分で行うことが可能であるが、薬の内服や電話の利用などの手段日常生活動作について何らかの支援を要する状態
3級	歩行や起き上がりなどは自立可能が、トイレへ行く時の間接的な介護または日常生活面においても一部分介護が必要状態
4級	要介護3の状態と比較して、日常生活動作及び手段的日常生活動作の両方からも著しく低下し、ほぼ全面的な介護が必要となる状態
5級	要介護4の状態に加え、更に動作能力が低下し、介護なしには日常生活を営むことが困難となる状態
6級	要介護5の状態よりさらに動作能力が低下しており、介護なしには日常生活を営むことがほぼ不可能な状態
7級	要介護6の状態よりさらに悪化し、介護なしには日常生活を営むことが不可能な状態。（寝たきりや認知症高齢者）

出所：中国天津職業老年福利協会の要介護認定基準により作成。

③ 高齢者の健康状況

— 2008年第四次国家衛生サービス調査結果

☞ 臓器疾病がない健康老年人 20%~25%

☞ ある程度慢性疾患病・寝たきり 約25%

☞ 生活自立できない 5%

☞ 二週発病率 22.2% (2003年より6.9%↑)

☞ 慢性疾患病率 20% (2003年より4.9%↑)

④ 長期介護 後期高齢者数の推移

表1 長期介護を要する後期高齢者数の推移：2000~2050年

(単位：万人)

自立不能度	2000年	2025年	2050年
ある程度自立	136.46	389.07	1256.78
ある程度依存	23.77	70.33	230.48
完全依存	78.96	231.98	761.66
合計	239.19	691.38	2248.92

表2 食事に介護が必要な後期高齢者人口の推移 (単位:万人)

要介護度	2000年	2025年	2050年
部分的介護	44.38	131.75	433.90
完全介護	14.64	42.93	141.13
合計	59.02	174.68	575.03

表3 トイレに行くのに介護が必要な後期高齢者人口の推移 (単位:万人)

要介護度	2000年	2025年	2050年
部分的介護	59.33	179.19	591.50
寝たきり	26.94	78.72	258.31
合計	86.27	257.91	849.81

表4 入浴に介護が必要な後期高齢者人口の推移 (単位:万人)

要介護度	2000年	2025年	2050年
部位に介護が必要	91.24	258.33	834.03
複数部位に介護が必要	108.40	319.56	1047.27
合計	199.64	577.89	1881.30

(注) : 表1,2,3,4 出所: 若林敬子 (2006) 280-287頁より作成

IV. 高齢者介護の現状と動向

—北京市と天津市の事例を通じて—

①北京市における高齢者介護の現状

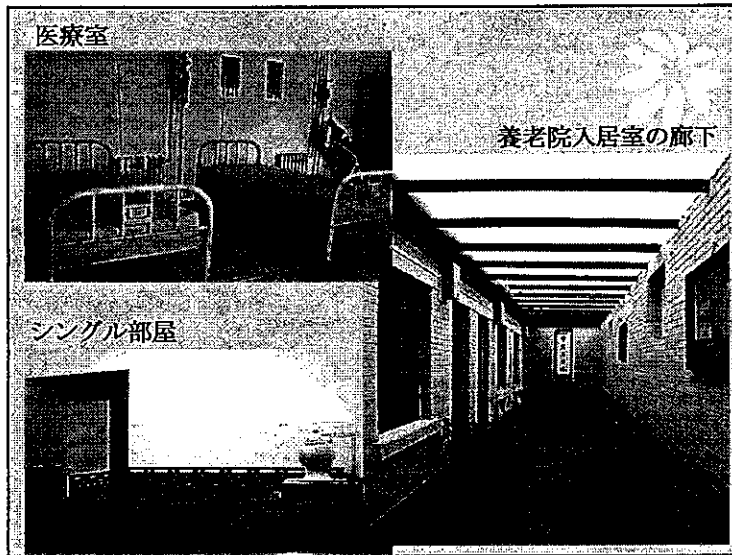
㊦ 高齢化の進展

2007年末	60歳以上の老年人口	210.2万人
	(高齢化率 17.3% 全国第4位)	
	80歳以上の老年人口	27.7万人
	100歳以上老人	354人
2050年	60歳以上の老年人口	650万人
	(三人に一人 高齢者)	

㊦ 北京市養老施設の状況

所有制形式	施設数(カ所)	ベッド数(張)
市属	4	1610
区属	10	1998
県	166	14015
街道	40	1844
社会团体・企業	23	3595
個人	88	13999
合資・合作	2	830
村委会・居委会	3	24131
合計	336	38080

出所: 北京市老齡工作委员会「北京市2007年老年人口信息和老齡事業發展狀況報告」により作成



03 宣武区牛街街道の在宅介護
 「北京市初の「在宅介護サービスセンター」

- > 2006年6月 北京市初の「在宅介護サービスセンター」が宣武区で誕生
- > 在宅介護員 10名
- > 介護サービスの個別化・多様化
 - （月から100～300円の家事援助
 - 指定された時間帯と項目に応じた介護サービス
 - 高齢者向けの多様な文化活動等の開催

03 個別化介護サービスカード



現在、牛街街道から提供したサービスカードは1700枚を超えた

03 高齢化社会向けの新たな動き

- > 牛街街道民族養老院の誕生 2009/5/8
 北京市最大の民族養老院
 220ベッド数（月1850～2900元）
- 9
- 0
- 6
- 4
- > 2020年まで
 - 90% 家庭による介護
 - 6% 社区による在宅介護
 - 4% 施設による介護

②天津市における高齢者介護の現状 —鶴童老人院を例に—

㉟ 高齢化の進展

2007年末	60歳以上老年人口	156.29万人
	(高齢化率)	16.3% (全国第5位)
	80歳以上老年人口	21.68万人
2030年	60歳以上老年人口	330万人
	(高齢化率)	32.19%

㉟ 鶴童老人院について

- ▶ 1995年 設立 民間コミュニティ組織
- ▶ 1996年 総合的な養老施設への完成
- ▶ 1997年 スタッフをドイツ研修に派遣、福祉サービス事業の拡大
- ▶ 1998年 内部組織の再編成
- ▶ 2002年 160名から定員450名に増え、介護施設 4施設へと拡大
- ▶ 2004年 介護施設、老人病院、介護専門学校、地域介護センター、高齢者食堂、介護用品開発販売事業所のそれぞれ1施設 スタッフ 260名

㉟ 鶴童モデルについての考察

▶ 介護の管理理念

寝たきり老人→座れる
座れる老人→立てる
立てる老人→歩ける

▶ 介護サービスの多様化

▶ ドイツの介護法を吸収

24時間に3人介護者

▶ 介護史上初

伝統的な布おむつ→紙おむつへ

表5 鶴童老人院各院における要介護高齢者数と認知症高齢者数
単位：(人)

介護級別	人数	割合(%)	認知症級別	人数	割合(%)
1	8	1.7	1	10	4.1
2	3	0.6	2	14	5.6
3	13	2.7	3	17	6.9
4	20	4.2	4	43	17.3
5	49	10.3	5	164	66.1
6	61	12.8			
7	322	67.7			
合計	476	100.0	合計	248	100.0

出所：「鶴童老人院各院要介護高齢者数と認知症高齢者数に関する統計一覧」(2009年2月)により作成

㊦ 新たな動き



2009年3月10日、鶴童老人院は『2009年～2015年発展概要』を公布した。2015年まで、全国の要介護高齢者の需要に応じて1万人介護者を育成するという目標を打ち出した

V. 高齢者介護の課題

—北京市と天津市の高齢者介護の事例から—

- ㊦ 介護サービス・施設の不足・不備
- ㊦ 介護施設の使用率が低い
- ㊦ 介護政策の不備・介護保険制度の空白および法律・法規の欠如
- ㊦ 地域住民の支援と関心が薄く、参加率が低い
- ㊦ 介護人材の不足と介護専門化の低さ
- ㊦ サービス提供の資金不足問題

VI. 今後の対策

- ㊦ 介護の社会化—公的介護+私的介護
- ㊦ 介護保険制度・法整備
- ㊦ 介護の国際化—介護専門人材の育成
- ㊦ 財源問題—政府、民間、個人、非営利団体との連携の必要性
- ㊦ 介護予防の重要性—高齢者健康ケア・システムの確立